

令和2年度 福祉保健活動拠点事業実績評価（鶴見区）

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
鶴見区 福祉保健活動拠点	(社福) 鶴見区 社会福祉協議会	A	<p><b>(場の提供)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で多くの団体が活動休止となる中で、地域の団体による手作りマスクの作成や学校での福祉教育への参加など、活動を模索している団体に寄り添いながら、柔軟に対応、支援を行っています。</li> <li>・コロナ禍で広い会議室のニーズが高まっている中で、各団体の利用調整は難しいかと思いますが、スムーズかつ公平な利用調整を行うことができています。利用状況のWEB公開は、不急の来館抑制につなげながら、区民の利用促進の一助ともなる良い試みです。</li> <li>・課題となっていた録音室に防音ブースを設置し、視覚障害者支援の環境改善につながる等、着実にサービス向上に取り組むことができています。活動団体からの要望を踏まえ、応対等のソフト面だけでなく、ハード面のサービスにおいても団体活動の活性化につなげられた点を評価します。</li> </ul> <p><b>(ボランティア業務)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専任のボランティアコーディネーターを配置しての、相談対応等から生きた情報を得ることは、今後の効果的な計画立案に繋がる良い試みです。</li> <li>・コロナ禍でも工夫をしながら、ボランティア入門講座を実施して、引き続きボランティア活動のきっかけづくりができるような場が提供できることを期待しています。</li> </ul> <p><b>(他の関連組織とのネットワーク)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人と地域のつながりづくりの取組、後見的支援室との連携、地域病院の相談室等との多角的な連携など、既存の連絡会や会議以外においても、関連組織との連携に積極的に取り組んでいます。</li> <li>・地域の団体活動を推進していく上で、活動場所となる「拠点」は非常に重要です。そのような場を持っている区社協の役割は、地域支援になくはならないため、引き続き区と協働した取り組みを期待しています。</li> </ul>